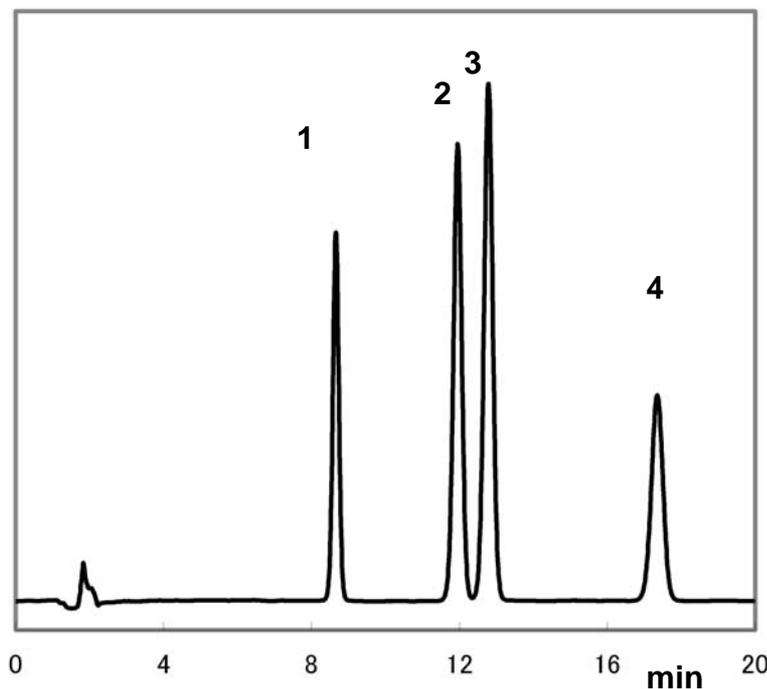


センソの成分定量法：カラムの選定

—第十六改正 日本薬局方より—



Column: TSKgel ODS-100V 5 μ m
(4.6mmI.D. x 15cmL)

Column temp.: 40 $^{\circ}$ C

Eluent: 0.1% H₃PO₄ : CH₃CN
= 11 : 9

Flow rate: 1.0 mL/min

Detector: UV (300 nm)

Injection vol.: 10 μ L

Concentration: 40 μ g/mL
(Bufalin)

Samples:

1: Bufalin

2: Cinobufagin

3: Resibufogenin

4: Indomethacin



センソ

—第十六正 日本薬局方より—

定量法 ……

操作条件

検出器: 紫外吸光光度計(測定波長: 300 nm)

カラム: 内径 4~6 mm、長さ 15~30 cm のステンレス管に 5~10 μm の液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充てんする。

カラム温度: 40 °C 付近の一定温度

移動相: 薄めたリン酸(1→1000)/アセトニトリル混液(11:9)

流量: 内標準物質の保持時間が 16~19 分になるように調整する。

注) 内標準溶液: インドメタシンのメタノール溶液 (1 → 4000)



センソ

—第十六改正 日本薬局方より—

操作条件 ……

カラムの選定: 標準溶液 10 μ L につき、上記の条件で操作するとき、ブファリン、シノブファギン、レジブフォゲニン、内標準物質の順に溶出し、それぞれのピークが完全に分離するものを用いる。